

一年
国語
G アップシート
読む4

組
番・氏名

★ストーリーが生き生きと伝わる朗読をしよう

◇大野さんの学級では古典の学習で故事成語「矛盾」を学び、ストーリーが生き生きと伝わるように朗読を工夫することにしました。

矛盾

楚人に盾と矛とを鬻ぐ者あり。
これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よく陥すものなきなり。」と。
またその矛をほめて「A」、「わが矛の利なること、物において陥さざるなきなり。」
B。
ある人いはく、「子の矛をもつて、子の盾を陥さばいかん。」と。
その人応ふることあたはざるなり。

(「韓非子」より)



問一 本文の A B に入る言葉を、本文中から抜き出して書きなさい。また、その言葉の意味をア～エから一つ選びなさい。

【音読するために、文語の決まりや訓読の仕方を知る】

ア	くと言った
イ	くと言われた
ウ	くと自慢した
エ	くと自慢された
オ	くと指摘した
カ	くと指摘された

A
B
意味



問二 大野さんは漢文の表現の特徴を生かした朗読をしたと考え、ア～エのようなアイデアを出しました。漢文の表現の特徴を生かしてこの文章を読むアイデアとして適切なものを二つ選びなさい。

【朗読の仕方を考えるために、古文や漢文の表現の特徴や効果をとらえる】

- ア 優しい言葉遣いが多いので、柔らかい雰囲気ふんいきで読む。
- イ 登場人物が多いので、それぞれの人物に表現の違いちがを出す。
- ウ 言い切りの形が多いので、間を大きく空けて読む。
- エ 対句があるのでリズムを考え、テンポ良く読む。

問三 大野さんは朗読の表現を豊かにするために、その人応こたふることあたはざるなり の部分を弱く読むことにしました。その根拠として適切なものを、ア～エの中から一つ選びなさい。

【朗読するために、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容の理解を深める】

- ア 言い争いの話なので、その緊張感のある様子を地の文に反映させた。
- イ 盾と矛の性能の悪さがばれたので、その様子を地の文に反映させた。
- ウ ある人に言い負かされた楚人の落胆した心情を地の文に反映させた。
- エ 楚人を言い負かしたある人の勝ち誇る心情を地の文に反映させた。



【読む4 ストーリーが生き生きと伝わる朗読をしよう】

問一 (A) いはく (B) と (意味) ア 問二 ウ、エ 問三 ウ

解説 問一 「いはく」とは、「くと言った」の意味になります。

問二 漢文は言い切りの形で終わる文が多く、文の内容がはっきりしているという特徴があります。その特徴を生かす工夫を考えましょう。

問三 朗読の工夫をする際には、登場人物の心情を読み方に反映させる方法があります。暗い気持ちの時には暗く、明るい気持ちの時には明るくを基本に、それぞれの気持ちに合った読み方を工夫しましょう。この部分は「楚人」が言い負かされた後の場面なので、暗い気持ちを反映させます。